

【担当教員】

伊藤 敦美

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟1号棟509号室

【授業目的および達成目標】

〔授業目的〕

本講義では、総合的な学習の時間の意義、目標、内容を定める際の考え方、指導計画作成、評価の考え方を身に付け、実践上の留意点を理解することを目的とする。

〔達成目標〕

- (1) 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。
- (2) 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。
- (3) 総合的な学習の時間の評価の考え方及び実践上の留意点を理解する。

【授業キーワード】

総合的な学習の時間の意義、目標、内容、指導計画作成、評価

【授業内容および授業方法】

〔授業内容〕

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す時間である。各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、この授業では、総合的な学習の時間の意義と目標及び内容の定め方、指導計画の作成、指導と評価について講義する。

〔授業方法〕

講義に加えて、発表及びディスカッションを行う。

【授業項目】

- 第1回：総合的な学習の時間の意義と教育課程における役割
- 第2回：学習指導要領における「総合的な学習の時間」の目標及び各学校における目標・内容
- 第3回：総合的な学習の時間の指導計画の作成（1）年間指導計画
- 第4回：総合的な学習の時間の指導計画の作成（2）単元計画
- 第5回：総合的な学習の時間の事例（1）複数学年による事例
- 第6回：総合的な学習の時間の事例（2）単一学年による事例
- 第7回：探究的な学習の過程及びその実現
- 第8回：総合的な学習の時間の評価

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため、教科書等の該当箇所を参照し、授業内容に関する予習を90分程度行い、授業内容に関する復習を90分程度行うことが望ましい。

【教科書】

岩崎保之編著「教育・保育の基礎を学ぶ」国際文献社、2018年。

高等学校学習指導要領（平成30年告示、文部科学省）

高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（平成30年 文部科学省）

【参考書】

中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（平成29年7月 文部科学省）

デューイ・スクール（小柳正司監訳、あいり出版）

【成績の評価方法と評価項目】

試験（レポート形式）60%、授業で課す課題30%、授業への取組（授業中の発言や態度）10%で評価する。講義内容全般についての理解度を確認するレポート試験を課す。授業への取組は、授業中の態度、授業中の発言、欠席状況等を総合的に評価する。

【留意事項】

1回目の授業から教科書を使用しますので準備をお願いします。

【参照ホームページ名】

平成29・30・31年改訂学習指導要領（本文、解説）

【参照ホームページアドレス】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

【備考】

特になし。

【ディプロマポリシーとの対応】

- 【】 1. 理数の技法と技術科学の見方
理数とデータサイエンスの概念・技法の習得、及び社会を支える様々な技術の科学的理解。
- 【】 2. 思考力・表現力と社会的視野
理解・思考・表現・対話の基礎である言語・論理力の習得、及び技術と社会、安全、環境との関わりの理解。
- 【】 3. 専門の基礎力
技術科学各分野の専門の基礎知識と技能、及び情報技術を使いこなす能力の習得。
- 【】 4. コミュニケーションと協働の力
英語による技術コミュニケーション基礎力、及び国際感覚を持ちチームで協働できる能力の習得。